

令和4年度 第1回 若葉区区民対話会概要
「地域課題の解決に向けた自治会と行政の協働に
関する意見交換」(若松町北部自治会)

1 区長挨拶

2 意見交換 (地域の抱える課題と解決策の検討について)

<コロナ禍における地域活動の現状>

- ・(区長)コロナの影響で地域活動が停滞している地域が多いが、こちらはどうか。
⇒自治会総会は3年ぶりに対面で実施した。他の自治会もそうだと思うが、行事は2年間ほとんど実施していない。2年間あまりお金を使わず予算に比較的余裕があるため、今年度は自治会費を通常の前半とした。
回覧は、以前は月2回行っていいが、感染対策で月1回に削減した。
昔からの習わしで観音様を拝む会があり、しばらく開催していなかったが、今年は再開した。
- ・防災訓練が2年間できていない。毎日のように火事の報道がされるが、訓練は繰り返し実施することで効果がある。
⇒(区長)防災訓練は命にかかわることなので、対策を講じて進めていただきたい。
他の地域でも同じような話が出て、どうしようか検討しているところもある。実施している地域の情報を提供していきたい。
- ・近隣にコンビニエンスストアの倉庫がある。地震など災害時に、支援してもらいたい。
⇒(区長)企業などと地域連携をしているところもある。避難所として敷地を貸してもらったり、食料提供が受けられるような地域協定というような形もある。実際に障害者施設と協定を結んだケースもある。どういう方法とするか、地域の皆さんで協議されるのがよいと思う。
- ・ウィズコロナが進み、世界的にはノーマスクの風潮にあると思う。日本でも国の指針が出て、こういうときはマスクはいらない、こういうときはつけなさいと示されているが、一般市民には十分に、正確には伝わらないように思う。国や県、市からもマメにわかりやすく、浸透するように周知してもらいたい。また、催しものの開催に迷うこともあるので、指針などの情報発信をしっかりといただきたい。
⇒(区長)マスク着用の判断は状況によるが、市での検討がこれからなので、意見としてあげていく。催し物はある程度の指針がすでにあるので、お示しする。

<自治会役員の担い手不足・加入率減少>

- ・(区長)自治会役員の担い手不足や加入率の減少について困っている地域が多い。
⇒都賀駅に通勤できるエリアで、新しく入ってくる人が多く、住宅も増えている。
各エリアに担当者を置き、新しく入ってくる人に加入を促している。
- ・新しい住宅が建つ際には、自治会に必ず入ってほしいとお願いしているが、自治会だけでは限界がある。加入世帯は全世帯の4～5割くらいだと思う。若い人が少ないと、行事の時に動きが鈍くなるので、若い人を取り込んでいきたい。
加入促進のために、行政からも強く発信してほしい。
⇒(区長)転入者には転入手続きの際にチラシを渡し案内している。その時に時間があれば、地域づくり支援室まで来ていただいて、自治会加入について説明することも考えている。また、若い人に役員を担ってもらう方策として、役員手当などを出している自治会もある。情報を集めて、また皆さんと情報交換したい。
- ・組長は毎年変わるので、役員も持ち回りにすればいい。また、戸建ての人は比較的自治会に入っている世帯が多いが、集合住宅の人が入っていないのが問題だと思う。
⇒(区長)役員を輪番にすると、それが負担で自治会をやめてしまう人もいると聞く。
マンションは管理組合を通して話をさせていただくのがよいと思う。

<区の取り組み（行政による支援）>

- ・デジタル化の支援のため、市にサーバーを用意してもらい、希望する自治会にレンタルする仕組みをつくってほしい。
⇒(区長)会計関係の書類を、パソコンを使わず手書きで作っているところもあり、自治会によってデジタル化の進捗は異なる。他の地域での先進的な取り組みを共有したい。サーバーの件は市全体の話になるため、市民自治推進課に伝える。
- ・自治会長に就任して4年目になったが、より良い自治会にしていきたいといつも思っている。区長には、若葉区の代表として、若葉区の全自治会長に向けて、夢、方向性を強く訴えてほしい。そういう機会があれば、自治会も行政を身近に感じると思う。
⇒(区長)若葉区町内自治会連絡協議会の総会でお話させていただいても良いかもしれない。行政だけではまちづくりはできない。広聴機能を高め、このような場で地域の皆さんの声を聴いてまちづくりをしていく必要がある。高齢化が進んでいる中で、これから地域をどうしていきたいか、それにはどう活動していけばいいか、一緒に考えていきたい。

- ・道路の危険箇所が多い。そういった現場の状況も聞いていただきたい。
⇒(区長) 区役所でできなくても、土木事務所や警察などの所管につないでいく。
個人の意見もちろん重要だが、それを一度自治会内で話し合っただき、自治会の総意として要望をあげていただいた方がいい。

- ・高齢者の増加により、定期的に通院が必要な人も増えている。病院への交通手段としてコミュニティバスを検討してほしい。
⇒(区長) 路線バスの運行には利用者がどれくらいいるか、採算性があるのかなど、事業者が検討しなければならない。バスに代わる移動手段として、桜木地区で「グリーンスローモビリティ」という、地域でカートを動かして必要なところに人を運ぶ実証実験を行ったので、興味があれば紹介する。地域の人が運行を担う(運転手や経路の検討など)必要があるが、検討していただければと思う。

- ・防犯カメラを、市でもっと多くの箇所に設置してもらえないか。
⇒(区長) 地域安全課が、犯罪の多いところから重点的に進めていると聞いている。
プライバシー保護と、防犯のすり合わせが重要であると思う。

- ・秋に敬老会を実施できるよう前向きに検討していきたい。
開催してほしいという意見もあれば、密集する場所に行きたくないという意見もある。
⇒(区長) 市としても対策をして、実施できるよう通知する予定。
開催方法については、自治会の中で十分に話し合っただきたい。

以上